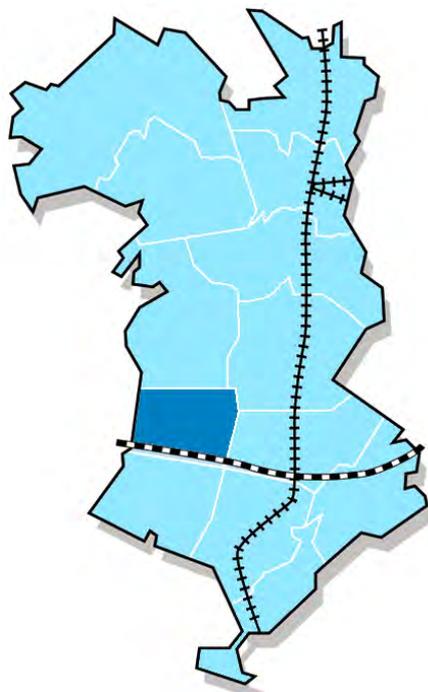


新総合計画実施計画

明治地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

明るく楽しい未来を創るまち，めいじ



地区のあらまし

明治地区の人口は、26,140人（2010年（平成22年）12月1日現在）で、全市の6.4%を占めており、13地区別では村岡地区に次いで10番目となります。

地区内の世代別人口構成では65歳以上の高齢者が全人口に占める割合は18.1%となっており全市の20.0%と比較して、現時点では高齢化の進行は遅く、バランスのとれた年齢構成となっています。

しかし、10年後の予測では人口が約26,300人となり、高齢者の割合は22.8%と増大し、高齢化が加速することが見込まれています。

明治地区は藤沢西部の相模原台地、座間・高座丘陵の南端に位置する概ね平坦な地勢となっており、西は茅ヶ崎市と接し、東は引地川が流れ、大庭南部に広がる引地川緑地ゾーン、城南の斜面緑地が一体となって、地区のランドマークとなる緑が形成されています。総面積は2.92km²で13地区では最も狭い地域となっています。

地区の特色

近年、辻堂駅周辺に大型店の進出が相次ぎ、さらに、関東特殊製鋼跡地の都市再生事業である湘南C-Xによる新たなまちの形成は、今後の明治地区のまちづくりを左右する大きな要因です。

歴史的背景としては、本市の教育文化発祥の地として誇ることができる耕余塾をはじめ、藤沢七福神のひとつでもある養命寺、かつての大山詣での起点を記す大山街道道標や鳥居など、歴史的遺産の類は地区の貴重な財産と言えます。



また、市の鳥カワセミを見ることができる引地川遊歩道、せりだした樹木が緑のトンネルをなす城南の小径、城稲荷周辺の田園風景、新装された辻堂駅北口デッキをはじめ多くの場所から望む富士など、自然豊かな一面も持ち、これらによってコンパクトシティを形成しています。

各地で行われる祭礼、盆踊りなど伝統行事だけでなく、地域の有志が主体となった新たな祭りも盛大に行われ、地区の活性化に一翼を担っているほか、各種サークル、ボランティア活動も活発な地域です。

明治地域経営会議

20人の委員で構成し、企画広報と推進の2部会が設置され、原則毎月第2火曜日に全体での定例会を開催しています。新総合計画（案）策定においては、地域独自のアンケート調査も行い、より身近な地域の課題や自慢できることなどについてご意見をいただきました。それら貴重なご意見を集約すると共に、各地域団体から推薦された委員と公募による委員が議論を積み重ね策定に至ったものです。

今後、実施計画の進捗状況については、地区の皆様にご公開して幅広いご意見をいただきながら、地区の特性に応じた、よりよいまちづくりを進めていきます。

都市ビジョン1
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 住んでいることに誇りと喜びを感じ住み続けたいと思えるまち

【成果指標】

- ①道路がきれいだと実感できる人の割合
- ②自転車マナーが良いと実感できる人の割合

【現状値】 ①24% ②17%

【めざそう値】 3年後：①35% ②28% 6年後：①50% ②40%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:18% D:14% E:12% F:24% G:0%



②A:23% B:13% C:14% D:11% E:17% F:21% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 安心できれいな道路の維持・ウォッチング活動の推進

<成果の視点> 啓発活動やウォッチングへ多くの人が参加すること

〔主要な指標〕 啓発活動やウォッチング活動への参加者数

○実施事業 歩行喫煙防止運動推進事業

こき 木障切り推進事業

《活動－2》 安心安全で誰もが利用しやすい道路の維持推進

<成果の視点> 安全に道路を通行するための知識を習得できること

〔主要な指標〕 マナーアップ教室への参加者数

○実施事業 マナー向上PR活動強化事業

明治中学校前道路路側帯カラー化事業

不法駐輪，放置自転車対策事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 子供たちが生き生きとしているまち

【成果指標】

①青少年育成の場や機会の充実度

【現状値】①27%

【めざそう値】3年後：①34% 6年後：①40%

【役割の担い手】①A:18% B:14% C:17% D:10% E:21% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-3》 子ども達がみんなで屋外で活動する機会の提供を推進

<成果の視点> 屋外での活動機会が充実していること。

〔主要な指標〕 交流推進活動へ参加者数

○実施事業 世代間及び地区外各校との交流推進事業
小中学校グランド常緑芝生化事業

《活動-4》 子ども達が昼間安心して活動できる場所の確保を推進

<成果の視点> 子ども達の安全が確保されていること

〔主要な指標〕 安全マップを知っている子どもの数

○実施事業 安全マップの活用促進事業

ふじさわ未来課題

11 地域の歴史文化を教育活動に活用すること

【地域まちづくり目標】

03 教え学ぶ環境施設が整っている地域と市民のまち

【成果指標】

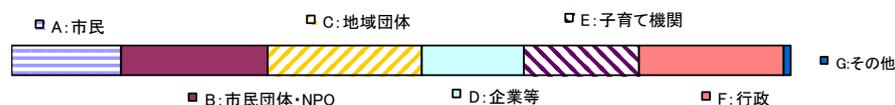
①歴史の保護，継承の認知度

②文化遺産の保護，継承の認知度

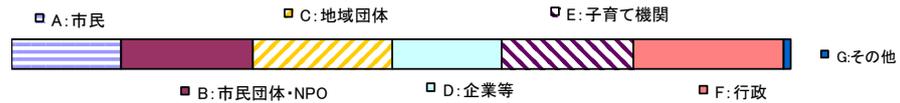
【現状値】①18% ②16%

【めざそう値】3年後：①22.5% ②22% 6年後：①30% ②30%

【役割の担い手】①A:14% B:19% C:20% D:13% E:15% F:18% G:1%



②A:14% B:17% C:18% D:14% E:17% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－5》 地域の歴史や史跡を大切にする活動の推進

<成果の視点> 教育活動が活発に行われていること。

〔主要な指標〕 講座参加者数

○実施事業 歴史講座開催・歴史ガイド養成事業

《活動－6》 学びながら史跡巡りができる情報提供活動の推進

<成果の視点> 提供された地域の情報が活用されていること

〔主要な指標〕 マップ等を活用した地域の歴史を学ぶための活動数

○実施事業 歴史散策・南北縦断観光事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

04 持続可能性を実現できるまち

【成果指標】

①いつでも安心して受けられる医療の充実度

【現状値】 ①39%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①57.5%

【役割の担い手】 ①A:13% B:16% C:16% D:16% E:15% F:24% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 明治を医療・健康などの中核地区として推進

<成果の視点> 利用しやすい情報を共有できる健康医療施設があること

〔主要な指標〕 マップに記載された医療機関の数

○実施事業 高齢者向け医療マップ作成事業

医療機関等循環コミュニティバス運行事業

災害時要援護者支援体制推進事業

都市ビジョン2
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

05 コミュニケーションに参加できる機会があるまち

【成果指標】

①子育て支援へのさまざまな取り組みに対する認知度

【現状値】 ①26%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①55%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:17% D:10% E:18% F:21% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 地域ぐるみで進める子育て支援や施設の誘致

<成果の視点> 情報共有化が可能な子育て支援活動が行われていること

〔主要な指標〕 地区内民間保育施設の数

○実施事業 民間保育施設誘致活動事業

子育て支援室充実事業

ふじさわ未来課題

30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること

【地域まちづくり目標】

06 挨拶、声かけ、清潔で思いやりのあるまち

【成果指標】

①住民主体のまちづくり活動への参加度合

【現状値】 ①42%

【めざそう値】 3年後：①50.5% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:20% D:10% E:15% F:18% G:5%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 世代間での挨拶、声かけ、清掃活動の推進

<成果の視点> 世代間交流ができる清掃活動が行われていること

- 〔主要な指標〕 町内会などの地域活動に参加したことがある人の数
- 実施事業 ペットの排泄処理徹底とゴミのポイ捨て禁止運動事業
自転車マナーアップ運動強化推進事業
声かけ運動推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

07 明治育ちを自慢できるまち

【成果指標】

- ①個性豊かに子どもが成長していると感じている人の割合
②小中学校が地域に開かれていると思っている人の割合

【現状値】 ①18% ②22%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①30% ②40%

【役割の担い手】 ①A:14% B:16% C:16% D:10% E:21% F:19% G:4%



②A:17% B:15% C:14% D:10% E:21% F:20% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－10》 世代を超えて学習できる機会の推進

<成果の視点> 世代を超えた学習機会が提供できていること

〔主要な指標〕 講座参加者数

○実施事業 市内大学生と小中学校生との交流推進事業

《活動－11》 高齢者と子供が共に学び伝える昔の暮らしと遊び活動の推進

<成果の視点> 世代を超えた交流活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 交流活動への小中学生の参加者数

○実施事業 小中学生地域活動参加促進事業

ふじさわ未来課題

43 子供が大人になっても愛着の持てるまちであること

【地域まちづくり目標】

08 ふるさと意識がもてるまち

【成果指標】

- ①愛着が持てるまちと実感できる度合
- ②地域活動に参加したいと思っている人の割合

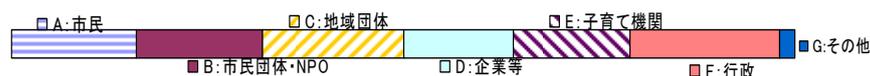
【現状値】 ①56% ②28%

【めざそう値】 3年後：①60% ②35% 6年後：①70% ②45%

【役割の担い手】 ①A:15% B:14% C:17% D:13% E:14% F:18% G:9%



②A:16% B:16% C:18% D:14% E:15% F:19% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 誰もが参加できるイベント等の活動推進

<成果の視点> 地域の企業や市民が参加できるイベントが開催されていること

〔主要な指標〕 イベント参加者数

○実施事業 地区内事業者等と協働によるイベント創設・充実事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

09 美化運動やエコ活動が実践できるまち

【成果指標】

- ①まちなみが環境に優しいと感じる度合
- ②まちなみがきれいで快適と感じる度合

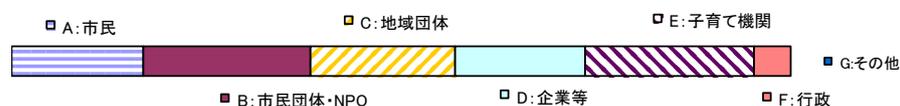
【現状値】 ①23% ②24%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①37.5% ②35%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:19% D:16% E:14% F:19% G:0%



②A:16% B:14% C:18% D:16% E:14% F:18% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－13》 環境にやさしい地域、緑や花いっぱい活動の推進

<成果の視点> 美化運動・エコ活動がみんなに知られていること

〔主要な指標〕 パトロールや声かけなど活動への参加者数

○実施事業 環境問題のウォッチング及び情報共有化推進事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

10 常に交通問題や道路事情に関心のもてるまち

【成果指標】

①地域の道路整備や交通安全対策など、良好な生活環境の維持・整備度合

【現状値】 ①32%

【めざそう値】 3年後：①42% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:13% B:13% C:20% D:20% E:8% F:26% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 交通問題について情報を収集、発信する活動の推進

<成果の視点> 交通問題に関する情報が共有されていること

〔主要な指標〕 交通問題への対策事業提案件数

○実施事業 交通問題検討事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

11 地域資源*1が有効活用されているまち

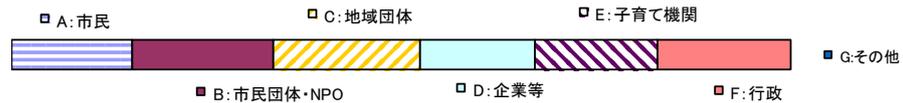
【成果指標】

①連携ネットワーク・情報提供の認知度

【現状値】①9%

【めざそう値】3年後：①19% 6年後：①35%

【役割の担い手】①A:15% B:18% C:19% D:15% E:16% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－15》 施設の情報共有化し有効に活用する活動の推進

<成果の視点> 情報が共有化できる施設があること

〔主要な指標〕 情報の共有化など有効活用されている施設の数

- 実施事業 羽鳥消防署跡地活用促進事業
- 安全安心ステーション設置・運営事業
- ボランティアセンター設立・運営事業
- 市民の家有効活用推進事業

《活動－16》 地域ぐるみで商店街問題を検討する活動の推進

<成果の視点> 商店街に関する情報が地域で共有されていること

〔主要な指標〕 商店街空き店舗に関して共有化された情報の数

- 実施事業 商店街空き店舗対策検討事業

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かなを育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

12 オープンで親切で思いやりのあるまち

【成果指標】

①訪れた人への配慮や意見要望に対応できた度合

【現状値】①63%

【めざそう値】3年後：①70% 6年後：①80%

【役割の担い手】①A:16% B:17% C:16% D:12% E:15% F:15% G:9%

*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。



《地域まちづくり活動》

《活動－17》 バリアフリー（外国語表記含む）化活動の推進

<成果の視点> バリアフリーが進んでいること

〔主要な指標〕 案内板など、表記のバリアフリー化対応件数

○実施事業 **道路バリアフリー化促進事業**
狭隘道路の解消促進事業

《活動－18》 いつでもどこでも意見を聴くことのできる活動の推進

<成果の視点> 訪れた人から、多くの意見が寄せられること

〔主要な指標〕 寄せられた気づきの数

○実施事業 **なんでも気づき箱設置事業**

| | | | | | | |
|--------------|--|-----------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | 歩行喫煙防止運動推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-1-7-01-1-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>地区内のボランティア団体が互いに連携をとりチームを組むことで、現在の運動を強化すると共に、新たに通勤時間帯などに歩行喫煙禁止の呼びかけ運動を行います。総合計画の重要な視点である「新しい公共」の推進のためにも、地域住民はもとよりコンビニなども協力しながらマナーアップを図り、誰もが安心して活動することができる「ポイ捨てゼロのまち」を目指します。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 運動を行った回数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 4回 | 6年後目標値 | 4回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民団体・市民ボランティア・地元企業・学校の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| | 検討・実施 | → | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | まちがきれい快適になる。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 |

| | | | | | | |
|--------------|---|-----------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | 木障切り推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-1-7-01-1-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>道路にはみ出ていたりカーブミラーなどを見えにくくしている枝は安全な歩行や走行の障害となっていますが、個人的には指摘しにくいのが現状です。「木障切り推進事業」は地区内ボランティアがチームを作り、地域で認知された事業として、枝のはみ出た家を訪問し剪定等の依頼をすることにより、所有者の協力を得やすくし、安全なまちづくりを推進します。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 訪問した家の数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0軒 | 3年後目標値 | 4軒 | 6年後目標値 | 4軒 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民団体・市民ボランティア・地元企業・学校の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | 歩行の安全確保が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 |

| | | | | | | |
|--------------|--|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | マナー向上PR活動強化事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-1-7-01-2-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>誰もが安心して通行でき、気持ちがいいと感じられることを実現するため、明治地区の散歩や自転車に乗る人が多い特性を踏まえた、マナー意識の向上が必要です。</p> <p>そのために、警察や学校と協働でマナー意識向上運動や交通安全教室を開催します。自分達の行動を客観的に見てもらうため、子ども達を自動車の運転席に乗せ、自動車には死角があることや急な飛び出しには対応できないことを体験させる教室も開催します。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 教室を開催した回数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民団体・市民ボランティア・地元企業・学校の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | 歩行や自転車走行のマナーアップが図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 |

| | | | | | | |
|--------------|---|---------------|--------|------|--------|--------------------|
| 事業名 | 明治中学校前道路路側帯カラー化事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-1-7-01-2-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>明治中学校前道路は歩道がなく、特に登下校時には学生を中心として歩行者が増え、危険な状況である、との声が寄せられています。歩道を新設するためには、道路に面した居住者の協力を得て道路の拡張をする必要があります、容易に出来ることではありません。そのため、歩行者のマナーアップと安全確保の一助として、路側帯をカラー化することにより視覚的効果を図ります。</p> | | | | | |
| 活動指標 | カラー化した道路の長さ | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 500m | 6年後目標値 | 500m |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 行政が主となる事業ですが、「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・保護者・学校の協力・協働も必要です。地域経営会議も行政と連携し、地域市民や関係各機関の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 調整 | 実施 | | | | |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | カラー化された道路は、通学路の安全確保だけでなく、歩行者・自転車のマナーアップ向上にも繋がります。また、学校・生徒・保護者・周辺住民の連携協力による「住んでいることに誇りと喜びを感じ住み続けたいと思えるまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 |

| | | | | | | |
|--------------|---|---------------|--------|-----|--------|----|
| 事業名 | 不法駐輪, 放置自転車対策事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-1-7-01-2-3 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>不法駐輪や放置自転車があるとの認識と情報共有が欠かせません。事業としては、地域団体やボランティアによるパトロールの実施, 不法駐輪, 放置自転車に対しては既存の警告シールを活用し, 今まで以上に積極的に生活環境の改善, マナー向上活動を展開します。</p> <p>同時に, 地区内駐輪場の利用状況, 自転車利用者の駐輪場に対するご意見などを伺いながら必要に応じ, 駐輪場の増設に取り組みます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 事業を行った回数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 2回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として, 市民・市民団体・市民ボランティア・地元企業・学校の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり, 地域市民の声を聞きながら, 連携・協働に基づいて進捗管理, ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | 自転車利用全般のマナーアップの推進が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|---------------|--------|-----|--------|----|
| 事業名 | 世代間及び地区外各校との交流推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-13-02-3-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>世代間の交流推進のため小中学生が地区の行事等に気軽に参加できる環境作りが求められています。地域と学校が連携・協働し, 明治地区の新たな象徴である湘南C-X内の施設を活用した世代や地域を超えて誰もが集えるイベントを開催します。</p> <p>新しくできる湘南C-X内の神台公園にはステージが設けられます。近隣中学校合同合唱祭や運動会など楽しいイベントの会場として利用を図り, 新設される公園が地域の人々に愛される公園として定着させるとともに, 様々な交流活動の拠点として活用していきます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | イベントの開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として, 市民・市民団体・市民ボランティア・地元企業・学校の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり, 地域市民の声を聞きながら, 連携・協働に基づいて進捗管理, ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 検討・実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | イベントを通じた交流から地域全体の連携・協力に発展し, 総合計画の目指す「新しい公共」や「地域分権」の推進に寄与します。地区外各校との連携も視野に入れ, 「子どもたちが活き活きとしているまち」の実現に繋がります。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|---------------|--------|--|--------|-----|
| 事業名 | 小中学校グランド常緑芝生化事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-13-02-3-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 小中学校は住民同士の交流の場として活用ができる地域の財産です。グラウンドの常緑芝生化は芝刈り・水やりなど地域による定期的な管理が欠かせません。地域全体の理解が必要ですが、何よりも大切なことは、グランドは土が常識という固定観念を覆し、子どもたちに芝生の美しさと喜びを与える強い意志です。芝生化を推進する関係団体とも連携をとりながら、地域住民・ボランティア・学校・保護者などが協働し事業実施に向けて検討します。 | | | | | |
| 活動指標 | 芝生化した箇所 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0箇所 | 3年後目標値 | 0箇所 | 6年後目標値 | 1箇所 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民・市民団体・市民ボランティア・学校・行政及び芝生化推進団体の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 |  | | |
| (市域全体) | 調査・検討 | → | → | 実施 | → | → |
| 事業の成果 | 芝生化から地域全体の連携・協力に発展し、総合計画の目指す「新しい公共」や「地域分権」の推進に寄与します。常緑芝で遊びふれあう子ども達を間近に見ることで、地域住民にもやすらぎと地域の協力の大切さが広がり、「子どもたちが生き活きとしているまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|---------------|--------|--|--------|--------|
| 事業名 | 安全マップの活用促進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-13-02-4-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 子ども達が安心して活動できる場所を確保するため、子どもと大人の共同作業で安全マップを作成します。子ども達の目線で見つめた危険な場所を大人の目で安全性などを再点検し、精度が高く使いやすいマップとします。 作成したマップは全戸配布し、子ども達に限らず、誰もが利用できる地区内全体の安全マップとして活用していきます。 | | | | | |
| 活動指標 | マップ配布数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0部 | 3年後目標値 | 8,500部 | 6年後目標値 | 8,500部 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民・市民団体・市民ボランティア・学校・行政の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 |  | | |
| (市域全体) | 調査 | 実施 | → | → | → | → |
| 事業の成果 | マップの作成と有効活用の推進が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 歴史講座開催・歴史ガイド養成事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-11-03-5-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>歴史、文化継承は自治町内会などが活動、実施の主体となって、住民や子どもたちともに行っています。しかし、最近では居住年数の浅い住民の増加等もあり各自治町内会、住民相互の情報共有化には至っていません。事業として歴史・文化の内容の認識・保存・整備を進める必要があります。同時に先人の知識・ノウハウを映像・データ化・文書化することも必要であります。既存の資料・教材に上記データ・文書をレジュメとして作成します。また、市民ボランティアガイドを養成するための講座を開催していきます。地区内の歴史に関する講座を住民や子ども達を対象に開催する他、小学校の課外授業としても行えるよう学校とも連携した事業として実施を検討します。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 講座の開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | | | | | | |
| 役割期待 | <p>明治郷土史料室運営委員会(地域住民によるボランティア組織)が中心となって、市からの委託により、企画立案、運営主体となります。地域経営会議も連携・協働に基づいて地域市民や利用者の声を聞きながら進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| | H23 | H24 | H25 | | | |
| | (地域) | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| 事業の成果 | 地域の歴史文化の周知や認識の広がりが図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業名 歴史散策・南北縦断観光事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-11-03-6-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>「歴史を、教える」「歴史で、教える」をコンセプトに進めていきたいです。明治地区は藤沢の教育発祥の地である「耕餘塾」をはじめ「旧三鶯八郎右衛門邸」「養命寺」など文化・史跡が多くあります。歴史的、文化的価値を広く共有できるようハード・ソフト両面(データ化とマップなど)の環境を充実させ、後世へ継承する事業としていきます。散策の移動手段としてバイクシェアリングを活用していきます。</p> <p>又、地理的条件として、辻堂駅、ライフタウン、遠藤、御所見と南北一直線で繋がっており藤沢西部地域の南北交流に努めていきます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | マップ配布数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0部 | 3年後目標値 | 1,000部 | 6年後目標値 | 1,000部 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | | | | | | |
| 役割期待 | <p>明治郷土史料室運営委員会(地域住民によるボランティア組織)が中心となって、市からの委託により、企画立案、運営主体となります。地域経営会議も連携・協働に基づいて地域市民や利用者の声を聞きながら進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| | H23 | H24 | H25 | | | |
| | (地域) | | | | | |
| (市域全体) | 検討・実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | 地域の歴史文化の周知や認識の広がりが図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業名 | 高齢者向け医療マップ作成事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-3-17-04-7-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>明治を、医療・健康等の中核地区として推進することから、安心して受診・利用可能な医療・健康機関を住民が選択できる情報を提供するため、誰にでもわかりやすいマップを作製します。マップ作製に関して、文字の大きさや色・形状を考え、高齢者、障がい者等のハンディキャップを軽減する工夫をします。</p> | | | | | |
| 活動指標 | マップ配布数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0部 | 3年後目標値 | 8,500部 | 6年後目標値 | 8,500部 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民団体・市民ボランティア・地元医療機関の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | 調整 | → | 実施 | → | → | → |
| 事業の成果 | <p>マップの作成と有効活用の推進が図られ、安心して受診・利用可能な医療・健康機関を住民が選択できる情報提供が図られます。</p> | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|-----------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 医療機関等循環コミュニティバス運行事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-3-17-04-7-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>辻堂駅を起点とした民間運営の循環コミュニティバスを運行させます。今後C-X内に出来る大型医療・健康機関に備え、高齢者、障がい者などの利便性に資することとします。民間主体の事業としての位置づけや関係医療機関との調整・住民ニーズの調査など検討すべき項目は多々あり、民間業者、行政、地域団体などが協働して検討を進めます。また、近隣地域との連携・協働も視野に入れます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 検討会回数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民団体・市民ボランティア・地元医療機関・民間事業者の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | <p>高齢者、障がい者などの利便性の向上が図られます。</p> | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---|--|-----------|-----|--------|--------------------|------|-----|--------|--|------|--|--|--|
| 事業名 | | | | | | | 災害時要援護者支援体制推進事業 | | | | | | | | |
| 体系コード | | 事業区分 | | まちづくり地域事業 | | | | | | | | | | | |
| 1-3-17-04-7-3 | | 地域分権区分 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | | <p>災害時に自主的避難が難しく周囲の支援が必要な方がいます。「災害時要援護者支援体制」は市が進める施策で、自主防災組織(自治会・町内会)を中心に援護を必要とする方に対し、災害時の迅速な支援体制を構築するものです。体制の構築には自主防災組織に受け皿となる仕組みが必要です。個人情報問題・支援者の選定など難しい問題もありますが、自治会・町内会の防災意識をより一層高めるとともに、医療機関も含め地元の企業や民生委員などと連携を取りながら順次支援体制を構築します。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 活動指標 | | 構築された自治会・町内会の数 | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | | 現状値 | | 1団体 | | 3年後目標値 | | 32団体 | | 6年後目標値 | | 32団体 | | | |
| 実績値 | | H23 | | H24 | | H25 | | | | | | | | | |
| 役割期待 | | <p>行政が主導する事業ですが、市民・地域団体・企業等地域全体での取り組みが必要な事業です。制度が構築された後の役割の担い手についても、総合計画が目指す「新しい公共」の実現に向けて、幅広く可能性について検討を進めます。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 事業スケジュール | | 第1期 | | | 第2期 | | 第3期 | | 第4期 | | | | | | |
| (地域) | | H23 | | H24 | | H25 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| (市域全体) | | 実施 | | → | | → | | → | | | | | | | |
| 事業の成果 | | <p>制度の確実な定着と運用が図られ、災害時における要援護者の救援体制が構築されます。また、支援者と要援護者との日常のふれあいが生まれます。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 実施主体 | | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---|--|-----------|-----|--------|--------------------|----|-----|--------|--|----|--|--|--|
| 事業名 | | | | | | | 民間保育施設誘致活動事業 | | | | | | | | |
| 体系コード | | 事業区分 | | まちづくり地域事業 | | | | | | | | | | | |
| 2-4-26-05-8-1 | | 地域分権区分 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | | <p>地域の未来の担い手を育成すべく、地域ぐるみで進める子育て支援施設の誘致活動を行います。保育園待機児は地域にとっても大きな課題となっており、湘南C-Xに民間事業者による新保育施設増がありますが、地域全体で見れば完全に課題解決とは言いきれません。色々な角度から検討し、幅広い事業者を対象に未来を担う子ども達を安心して育てられる環境作りのため、誘致活動を行っていきます。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 活動指標 | | 誘致活動を行った回数 | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | | 現状値 | | 0回 | | 3年後目標値 | | 2回 | | 6年後目標値 | | 2回 | | | |
| 実績値 | | H23 | | H24 | | H25 | | | | | | | | | |
| 役割期待 | | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・企業(保育園事業者及び保育園を求める事業者)の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 事業スケジュール | | 第1期 | | | 第2期 | | 第3期 | | 第4期 | | | | | | |
| (地域) | | H23 | | H24 | | H25 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| (市域全体) | | 調整 | | 実施 | | → | | → | | → | | → | | | |
| 事業の成果 | | <p>幅広く誘致活動を行うことで可能性が広がります。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 実施主体 | | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | 子育て支援室充実事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-26-05-8-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>明治市民センター内にボランティアの方々が運営している「フリースペースにこここ」という子育て支援室があります。月8回程度開かれています。子育て中のお母さん方に大変好評で、もっと開いて欲しいという声が多数寄せられています。開催日を増やすためには、支援して下さるボランティアの増員と行政の支援が必要です。子育て支援室のPRを、さらに充実させるとともに、支援者の増員を図り、支援室の活動を強化・拡大します。</p> <p>また、地区内の子育て支援施設の情報共有化を推進します。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 発信した情報数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0情報 | 3年後目標値 | 6情報 | 6年後目標値 | 6情報 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・保護者の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | 現状の支援室の拡充が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 |

| | | | | | | |
|---------------|--|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | ペットの排泄処理徹底とゴミのポイ捨て禁止運動事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-30-06-9-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>ペットの排泄処理やゴミのポイ捨て禁止は徹底されているとは言えず、まだまだ地域の課題として取り上げられています。一人一人が清潔なまちづくりに関心を持ち、互いに思いやりのある行動を心がけることが大切ですが、ポスターやチラシなどで積極的に周知し、住民同士が挨拶・声かけを実践することが、マナー徹底の第一歩に繋がります。</p> <p>日常の挨拶・声かけはもとより、犬の予防注射時などでも排泄処理徹底を呼びかけ、生活環境の向上を図ります。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 呼びかけを行った日数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0日 | 3年後目標値 | 2日 | 6年後目標値 | 2日 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・飼い主の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討・実施 | → | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | ペット飼育におけるエチケットの徹底により、生活環境の向上が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---|--|---------------|-----|--------|-----|----|-----|--------|--|----|--|
| 事業名 | | 自転車マナーアップ運動強化推進事業 | | | | | | | | | | | |
| 体系コード | | 事業区分 | | まちづくり行政事業(地域) | | | | | | | | | |
| 2-4-30-06-9-2 | | 地域分権区分 | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | | <p>自転車と自動車、自転車と歩行者など自転車による事故は大きな社会問題となっています。(子どもが起こした自転車による事故でも賠償責任が生じることがあります。)事故の防止のために世代間での挨拶・声かけの励行やを通し、周囲への思いやりの気持ちを育むとともに、警察の協力によるマナーアップ教室を開催します。</p> <p>また、親がきちんとマナーを守り、子どもの手本となることも大切と考えますので、親を対象としたマナーアップ教室も開催します。</p> | | | | | | | | | | | |
| 活動指標 | | 教室開催数 | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | | 現状値 | | 0回 | | 3年後目標値 | | 2回 | | 6年後目標値 | | 2回 | |
| 実績値 | | H23 | | | | H24 | | | | H25 | | | |
| 役割期待 | | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・関連地域団体・警察の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | | | | | | | |
| 事業スケジュール | | 第1期 | | | 第2期 | | 第3期 | | 第4期 | | | | |
| (地域) | | H23 | | H24 | | H25 | | | | | | | |
| | | 調整・検討 | | 実施 | | → | | → | | → | | → | |
| (市域全体) | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の成果 | | 歩行や自転車走行のマナーアップが図られます。 | | | | | | | | | | | |
| 実施主体 | | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|--|--|---------------|-----|--------|-----|----|-----|--------|--|----|--|
| 事業名 | | 声かけ運動推進事業 | | | | | | | | | | | |
| 体系コード | | 事業区分 | | まちづくり行政事業(地域) | | | | | | | | | |
| 2-4-30-06-9-3 | | 地域分権区分 | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | | <p>安全・清潔と感ぜられるまちをつくるには、誰もが見られ、見守られていることを意識することから始まります。世代を越えた挨拶・声かけが大切で、空き巣・ひったくり等の犯罪予防へも繋がります。</p> <p>「声かけ運動推進事業」は地域住民が中心となって率先して行い、誰もが気軽に挨拶・声かけがしやすい環境づくりを進めます。</p> | | | | | | | | | | | |
| 活動指標 | | 呼びかけを行った日数 | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | | 現状値 | | 1日 | | 3年後目標値 | | 2日 | | 6年後目標値 | | 2日 | |
| 実績値 | | H23 | | | | H24 | | | | H25 | | | |
| 役割期待 | | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・関連地域団体の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | | | | | | | |
| 事業スケジュール | | 第1期 | | | 第2期 | | 第3期 | | 第4期 | | | | |
| (地域) | | H23 | | H24 | | H25 | | | | | | | |
| | | 調整・検討 | | 実施 | | → | | → | | → | | → | |
| (市域全体) | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の成果 | | 地域ぐるみの快適なまちづくりの推進が図られます。 | | | | | | | | | | | |
| 実施主体 | | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|---------------|--------|--------------------|--------|-----|
| 事業名 | 市内大学生と小中学校生との交流推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-5-45-07-10-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>世代を超えた交流・学習機会を地域・教育機関・行政が協働で創出します。市内大学と協働して理科系講座など小中学校のニーズの掘り起こしから始め、開催へと繋がります。大学生のボランティア活動やサークル活動などの自主的な活動とも連携、協働を検討し、楽しくするための講座を開催していきます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 講座開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市内大学・小中学校・保護者・市民ボランティアの協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | 調整・検討 | → | → | 実施 | → | → |
| 事業の成果 | 地域における担い手の拡大の推進が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | (連絡先) 0466-34-3444 | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|-----------|--------|--------------------|--------|-----|
| 事業名 | 小中学生地域活動参加促進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-5-45-07-11-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>世代を超えて命の大切さを共有するには、交流活動が活発に行われていることが大切です。現状の認識と共有から始め、地域の連携協働と防災意識の向上を図るため、地域の防災訓練に小中学生の参加を検討し早急な実施をめざします。世代を超えた共同訓練により顔と顔が繋がり、非常時におけるヒューマンネットワークになると思います。この他、世代間の交流活動を研究実施し、地域全体で子ども達の健全育成に取り組みます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 参加した活動数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0活動 | 3年後目標値 | 1活動 | 6年後目標値 | 1活動 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、小中学校・保護者・関連地域団体の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | 調整・実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | 防災意識の養成から地域における担い手育成の可能性について拡充が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | (連絡先) 0466-34-3444 | | |

| | | | | | | |
|----------------|---|---------------|--------|--------------------|--------|-----|
| 事業名 | 地区内事業者等と協働によるイベント創設・充実事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-5-43-08-12-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>湘南C-Xの事業進捗により、明治地区も新しいまちとして生まれ変わろうとしています。地域住民みんなが楽しみが増えてふるさと意識が持てるまちとするため、湘南C-X内事業者などと協働で新しいイベントを企画します。</p> <p>子ども達と一緒に企画し楽しいイベントにします。</p> | | | | | |
| 活動指標 | イベント開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、湘南C-X内事業者・関連地域団体の協力・協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| 事業の成果 | <p>従来の地区内住民と湘南C-X内事業者・住民との協働作業により、更なる「地域力」「市民力」の発展が図られます。</p> | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | (連絡先) 0466-34-3444 | | |

| | | | | | | |
|----------|---|---------------|--------|--------------------|--------|-----|
| 事業名 | 環境問題のウォッチング及び情報共有化推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>環境保護は、身近な美化活動やエコ活動が大事と認識することから始まります。認識にあたっては、地域団体・住民・行政の情報共有が大切ですが、学校教育も欠かせない要素として考えています。</p> <p>タバコのポイ捨て・ゴミの不法投棄などターゲットを絞り込み環境全般のパトロール・声かけを行い、中学生による清掃ボランティア活動の拡充についても検討していきます。各々の活動の成果や予定、環境問題に関する情報の共有化を推進し、活動への関心を高め、より充実した活動を推進します。</p> | | | | | |
| 活動指標 | パトロールの日数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0日 | 3年後目標値 | 2日 | 6年後目標値 | 2日 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・関連地域団体・中学校の協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 調整・検討 | → | | | | |
| 事業の成果 | <p>地域ぐるみの快適な環境づくり推進が図られます。</p> | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | (連絡先) 0466-34-3444 | | |

| | | | | | | |
|----------|--|-----------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 交通問題検討事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 現在の慢性的交通渋滞に加え、湘南C-X完成時に起こりうる交通に関する問題は道路事情など難しい要因が多く、具体的な解決策が容易に見いだせるわけではありません。地域住民・地元企業・警察・行政など関係各機関が現状を共通認識する必要があります。関係各機関が所有している情報の共有化を進め、解決策を考える交通問題検討会を定例的に開催していきます。 | | | | | |
| 活動指標 | 検討会開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・関連地域団体・地元企業・警察の協働による事業が推進されます。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 調整・実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | 交通問題について関係各機関が同じ席で議論することで、問題点と情報の共有化が図られます。共有化された情報は分類整理され、ふじさわ未来課題「市内の交通・物流がスムーズに行われること」への貴重な資料となります。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|-----------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 羽鳥消防署跡地活用促進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 旧羽鳥消防出張所跡地は明治地区の中心に位置していることから、コミュニティセンターや防災拠点施設など多機能複合施設の敷地として公有地の有効活用をしていきたいと考えています。どのような施設と機能が求められるのか、検討委員会の設立・地元の意見集約・基本構想の策定と段階をおって検討を進め、地域として最適な活用方策をまとめていきます。 | | | | | |
| 活動指標 | 検討委員会開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 4回 | 6年後目標値 | 4回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・関連地域団体・地元企業・警察の協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 提言書提出 | → | → | | | |
| 事業の成果 | 地域資源の有効活用について地元意見の吸い上げ・集約が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|---------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 安全安心ステーション設置・運営事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>交番が無い地区内東側に空き店舗等の活用を考慮した「安全安心ステーション」を設置します。安全安心ステーションは、地域の安全を見守るための地区防犯協会の拠点施設として位置づけられます。</p> <p>場所の確保をはじめ、ステーションの運用方法などについて、関係団体や各機関と連携しながら設置へ向けた準備を進めていきます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 検討会開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 2回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・関連地域団体・警察・行政の協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | → | 実施 | → | → |
| 事業の成果 | 地域資源の有効活用について地元意見の吸い上げ・集約が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|---------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | ボランティアセンター設立・運営事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>ボランティアが果たす役割への期待が高まる中、拠点となるボランティアセンターの設置が求められています。設置場所の確保をはじめとして、ボランティアの募集と研修、実施するサービス内容などについて、地区社会福祉協議会を中心に検討を進めます。</p> <p>高齢者や障がい者の日常生活の支援を地域で担っていけるようにしていきます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 検討会開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 2回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・関連地域団体・行政の協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | → | 実施 | → | → |
| 事業の成果 | 関連地域団体や地元意見及びニーズの吸い上げ・集約が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|-----------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 市民の家有効活用検討事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>地区内に2カ所ある市民の家(明治・羽鳥)について、より多くの人が有効に利用できるような市民の家のあり方を検討します。地元の意見を集約し市全体の方針と協調しながら進めていきます。</p> <p>今までの形態に拘らない新しい有効活用を検討していきます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 検討会開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 2回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・市民ボランティア・関連地域団体・行政の協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | | | |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | 関連地域団体や地元意見及びニーズの吸い上げ・集約が図られます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|-----------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 商店街空き店舗対策検討事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>商店街空き店舗対策は、商店街の活性化のみならず、まち全体、市域全体の活性化にも繋がることから、全市で取り組む重要な課題です。地域においては地元住民や商店街の人など関係者が同じ席に着いて商店街空き店舗対策検討会を開催し情報の収集と共有化を図ります。</p> <p>収集した情報は、その後の検討課題として整理していきます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 検討会開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 2回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、商店街関係者・地元住民のみならず通勤通学者との協働により事業を推進する必要があります。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討・実施 | → | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | 商店街関係者・地元住民が協働した事業により商店街・消費者双方の情報について共有化が推進されます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------------------|--|---------------|--------|-------|--------|-------|
| 事業名 道路バリアフリー化促進事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>凸凹が多く歩行や車いすの通行に支障をきたしている藤沢羽鳥線の歩道を平坦にしバリアフリー化します。また、外国語併記の地区案内板を設置し、言葉のバリアフリー化を図ります。</p> <p>高齢者や障がい者あるいは外国の方々が気軽に楽しく過ごせたり訪れたり出来るまちづくりを進めていきます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | バリアフリー化距離数(km) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0km | 3年後目標値 | 1.5km | 6年後目標値 | 1.5km |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 道路の平坦化については、行政の関わりが主となる事業ですが、地元住民・関連地域団体との協働も必要です。案内板については、地域経営会議が中心となり、地元住民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 検討・実施 | → | → | → | | |
| 事業の成果 | 道路が平坦化され歩行者などに優しい道路となります。外国語併記案内板については、訪れる人にとって、地域のイメージアップに繋がります。併せて、障がい者・高齢者・健常者の誰もが歩きやすく楽しい道路の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

| | | | | | | |
|------------------------|---|-----------|--------|-------|--------|-----|
| 事業名 狹隘道路の解消促進事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>明治地区には狹隘道路が多く、地域の中でも指摘する人が多い課題となっています。狹隘道路の解消は居住者や土地所有者の協力が欠かせません。通行の安全性の確保、防災の観点から地域としては現状を再認識し情報共有を進める検討会を開催し、狹隘道路の解消へ向け実施可能な箇所の選別を進め、具体の計画策定へ向け検討を進めます。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 検討会開催数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 4回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 狹隘道路解消については、行政の関わりが主となる事業ですが、地元住民・関連地域団体との協働も必要です。地元住民の声を聞きながら、情報の共有化を進め、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 調整 | → | → | 検討・実施 | → | → |
| 事業の成果 | 地元住民・行政で狹隘道路についての情報共有が進み、段階的かつ計画的な解消に向けた道筋が構築されていきます。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター (連絡先) 0466-34-3444 | | | | | |

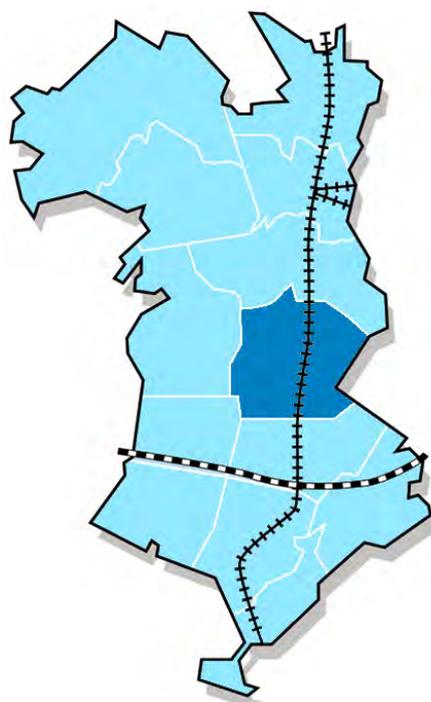
| | | | | | | |
|----------|---|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | なんでも気づき箱設置事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>日頃からまちを歩いていて何気なく気づくことも少なくないと思います。又、明治を訪れた人が明治に対して、どんなイメージを持つのかを把握し、次のまちづくり活動へと活かすことが大切です。「なんでも気づき箱」は道路や公共施設などに設置し、誰でもどんな意見でも気づいたことを発言できる”箱”です。置き場所や置き方に工夫しながら設置していきます。いただいた意見は今後のまちづくりの参考とします。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 設置した気づき箱の数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0箱 | 3年後目標値 | 5箱 | 6年後目標値 | 5箱 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | <p>「新しい公共」と「地域分権」推進の担い手として、市民・地域団体が協働した事業により、地域の様々な情報について共有化が推進されます。地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施していきます。</p> | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | |
| (地域) | | | | | | |
| | 検討 | 検討・実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | <p>地域内の人だけでなく地域外から訪れた人の意見・要望を収集することが出来ます。その中でも、地域外の人々の意見などは地元住民には気づきにくい貴重なものが含まれてくると推測しており、これらを有効活用することで、より一層の「市民力」の推進に発展していきます。</p> | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部明治市民センター | | | | | (連絡先) 0466-34-3444 |

新総合計画実施計画

善行地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち



地区のあらまし

「善い」事を「行う」と書いて「ぜんぎょう」と読みますが、わたしたちのまち「ぜんぎょう」は、藤沢市のほぼ中央部、神奈川県中西部から広がる相模野台地の南端に位置し、境川と引地川の両河川に挟まれた、面積6.09km²の区域です。

善行地区は、台地と谷間（たにあい）の入り組んだ複雑な地形をしており、豊かな自然と緑が織りなす景観に囲まれた、「坂道」に象徴されるまちで、2010年（平成22年）12月1日現在、藤沢市の人口の10.3%に当たる41,990人の人たちが暮らしています。65歳以上の方の占める割合（高齢化率）は21.0%で、市内では4番目に高い地区になります。

善行のまちは、昭和35年の小田急線善行駅の開業をきっかけに、大きな変貌を遂げました。

ちょうどそのころ、市では善行地区を都市計画区域に指定し、善行駅を中心に大規模な開発事業に着手しました。

この結果、駅の東側は、県立体育センターや藤沢商業高等学校（現藤沢翔陵高等学校）、聖園女学院などの文教地区に、西南部は荏原製作所など、20社以上の企業が進出する工業地区となり、また、亀井野団地、善行団地の造成を始め、相次いだ住宅開発と周辺のインフラ整備を行う傍ら、緑の保全にも配慮がなされ現在の「ぜんぎょう」のまちが形づくられていきました。

最近では、地区の中部から西部を中心に、大規模なマンション建設や宅地開発が進み、子育て世代層の大量流入によりまち全体の人口構成も変化してきています。

地区の特色

～ “坂”，“ひと”そして“みどり”のまち「ぜんぎょう」～

善行は、元々の地名を「善行寺村」といって、現在の善行公園辺りにあったとされる「善行寺」に由来するものと言われてはいますが、確かな記録は残っていません。また、地名の由来をはるか遡る太古から生活の営みがあった所で、ナウマン象の化石や先土器、縄文・弥生各時代の遺物や住居跡が、地区内のあちこちから数多く出土しています。

江戸時代には、幕府直轄であった藤沢宿坂戸町の枝郷でしたが、宿の最北端にあったため、藤沢宿のようには巷に知られていない農村集落で、今もその営みの姿を残しています。

昭和初期、関東屈指の名門コースといわれた藤沢カントリー倶楽部が開場、皇族を始め多くの著名人が訪れました。このゴルフ場は、後に、太平洋戦争という大きな時代の波にもまれ、数奇な運命を辿ることになりますが、現在も「グリーンハウス」と呼ばれたクラブハウスが残っており、瀟洒な洋館として当時の面影を伝えています。

歴史の流れと独特の地形は、まちを個性的に育んできました。

こうしたあゆみを振り返るなかで「ぜんぎょう」のまちは今、“坂”，“ひと”そして“みどり”のフレーズ抜きに語ることはできません。

★坂のまち「ぜんぎょう」

善行地区は、台地と谷間が織りなす起伏に富んだ地形をしており、日常生活から坂を切り離すことはできないほど生活に馴染んでいます。一方で坂道を登る辛さを覚える人、また傍らで景色の風情に浸る人、そして通り慣れた道を友として心の中でそっと語りかける人…。

善行の坂には、そこに暮らす人たちにとって思い思いの物語があります。

★人のまち「ぜんぎょう」

善行の人たちは、ボランティアの精神がとても旺盛です。様々な地域団体がそれぞれの立場から、また、お互いに協力しあって、一生住み続けたい「ぜんぎょう」のまちを目指してみんなが元気に地域活動を続けています。

高齢者の生活支援や生きがいづくり、子育て世代への支援を行う地域独自の団体や、希薄になりつつある地域のコミュニケーション力を取り戻そうとする試みなど、地域の課題に対する、善行ならではの独創的な取り組みが身近なところで積極的になされています。

★みどりのまち「ぜんぎょう」

善行地区は、緑豊かな自然と景観に恵まれた地区です。地区のほぼ中央に広がる緑地や台地からの眺望、地区の両翼を流れる河川沿いに広がる田園風景や台地の谷間に広がる谷戸といった自然環境はそこに住む人びとに安らぎを与え、やさしさを育ててきました。

また、古くからの農業の営みは現在も続き、新鮮な大地の恵みを届けてくれます。

善行地区地域経営会議（地域経営会議「ぜんぎょう」）

地域経営会議「ぜんぎょう」は、私たちのまちをもう一度歩いてみました。気づいたことを聞いて集めてみました。あなたの声で「善行」が変わるかも知れません。私たち 25 人がそれをお手伝いします。これからの街「善行」を創るのは主役の“あなた”です。

都市ビジョン1
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること

【地域まちづくり目標】

01 さりげないサポートの「まち」

【成果指標】

①提供する環境や仕組みに対する信頼性が増すこと

【現状値】 ①45%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①65%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:17% D:17% E:17% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 暮らしに活かす地域の力

<成果の視点>

地域の声をいつでも聞きながら、誰にもやさしく手をさしのべられ、求められるやさしさをさりげなく案内するための情報発信ができていること

〔主要な指標〕 善行の地区情報の発信媒体数、情報共有の場の設置数

○実施事業 「ぜんぎょう」を知ろう事業

善行市民活動サポートセンター開設運営事業

地域活動ネットワーク事業

善行ささえあいマップ作成事業

高齢者ミニデイサロン事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 子どもを守りはぐくむ「まち」

【成果指標】

①善行が楽しいと感じる子どもの割合

【現状値】①24%

【めざそう値】3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:19% B:18% C:16% D:11% E:19% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－2》 まるごと遊べる楽しい地域

＜成果の視点＞ まちのどこでも子どもたちは安心して遊べ、親たちも安心して遊ばせられる地域の環境が整っていること

〔主要な指標〕 各事業の子どもの参加者数

○実施事業 コミュニティひろば事業

善行ファミリーサポート事業

はばたけ！ぜんぎょうの子どもたち事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

03 みんなで作る安全安心な「まち」

【成果指標】

①日常生活において安全安心を実感できる人の割合

【現状値】①25%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:20% B:15% C:18% D:12% E:15% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－3》 防犯意識が高まる地域

＜成果の視点＞ 地域の安全を隅々まで見渡す、安心のやさしい目をみんながもてるまちであること

〔主要な指標〕 自主パトロールや 防災訓練への参加者数

○実施事業 みんなで取り組む防災事業

防犯パトロール強化事業

都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること

【地域まちづくり目標】

04 笑顔でふれあう「まち」

【成果指標】

①まちのあちこちで挨拶や会釈を交わす人の割合

【現状値】 ①41%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:21% B:13% C:19% D:11% E:20% F:16% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-4》 出会うよろこび感じる地域

<成果の視点> いつでも、どこでも、誰でもできるコミュニケーションの原点である気軽なあいさつが浸透していること

【主要な指標】 あいさつ運動推進キャンペーン実施回数

○実施事業 あいさつ運動推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

【地域まちづくり目標】

05 坂道とやさしくつきあう「まち」

【成果指標】

①「坂」に対する不満・不便を感じる人の割合

【現状値】 ①56%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:16% C:19% D:17% E:11% F:22% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－5》 らくらく動ける便利な地域

<成果の視点> 地域みんなが快適に地域内を行き来できること

〔主要な指標〕 善行の坂に対して、不満・不便を感じている60歳以上の人の割合

- 実施事業 善行の坂道対策事業
- 高齢者等移動支援事業

ふじさわ未来課題

43 子供が大人になっても愛着の持てるまちであること

【地域まちづくり目標】

06 郷土や自然を愛する「まち」

【成果指標】

①善行に愛着を持つ人の割合

【現状値】 ①52%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:18% D:13% E:17% F:17% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 心をつなぐ地域の資産

<成果の視点> 生活に密着した、身近な資源から地域や自然への愛着が深まっていること

〔主要な指標〕 善行地区に愛着を持っている人の年代別割合

- 実施事業 「ぜんぎょう」を知らう事業
- 「ぜんぎょうの坂に愛称を！」事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

07 善い行いがあふれる「まち」

【成果指標】

①公共マナーが向上していると感じる人の割合

【現状値】①15%

【めざそう値】3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:18% B:15% C:16% D:13% E:18% F:16% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 つくって守る地域のルール

＜成果の視点＞ ルールとマナーを守ってやさしい環境が維持され、お互いが快適な毎日を通せる環境であること

〔主要な指標〕 キャンペーン参加者数

○実施事業 「きれいなまち、みんなで作る善行」クリーン推進事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

08 みんながつどう楽しい「まち」

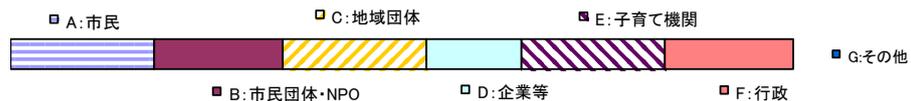
【成果指標】

①市民センター・公民館利用者の満足度

【現状値】①21%

【めざそう値】3年後：①47% 6年後：①53%

【役割の担い手】①A:18% B:16% C:18% D:13% E:18% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 力が集まる地域の拠点

＜成果の視点＞ 誰もが気軽に立ち寄り、語らいそしていきいきと活動のできる施設であること

〔主要な指標〕 施設有効活用の検討・調査結果として提案案件数

○実施事業 善行市民センター建て替え事業

市民の家有効活用検討事業

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

【地域まちづくり目標】

09 大地のめぐみを育てる「まち」

【成果指標】

①善行の地場産農産物を購入している人の割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:17% B:14% C:17% D:17% E:17% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 「食」と「農」とをつなげる地域

<成果の視点> 生産者にやりがいと、消費者には味わいと安心を与えられる環境であること

〔主要な指標〕 地場産農産物の販売チャネル数

○実施事業 「農業を元気に！」事業

ふじさわ未来課題

63 地域の人材が働ける機会を創造すること

【地域まちづくり目標】

10 いきがい、やりがい、ささえあいの「まち」

【成果指標】

①善行に住んで良かったと思う人の数

【現状値】 ①53%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:22% B:9% C:22% D:8% E:22% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－10》 だれもがいきいき地域の一員

<成果の視点> 誰もが生きがいを持って、地域で活躍できていること

〔主要な指標〕 設立団体（NPO）の実施事業への参加者数

○実施事業 （仮称）「元気集団・ぜんぎょう」事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

68 日常生活に安らぎや豊かさを与えてくれる場所があること

【地域まちづくり目標】

11 自然とふれあう健康な「まち」

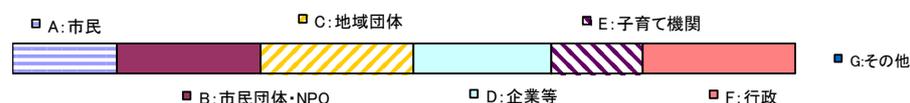
【成果指標】

①地域内の自然を楽しむ人の割合

【現状値】 ①41%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:13% B:18% C:19% D:18% E:12% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－11》 みんなでつくる癒しの地域

＜成果の視点＞ 地域の資源である緑と土に、様々な世代が親しみながら心と体を癒す環境があること

〔主要な指標〕 活動参加者数

○実施事業 ぜんぎょう里山づくり事業
まちに花いっぱい事業

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

ふじさわ未来課題

73 活気があり、開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

12 活気あふれる元気な「まち」

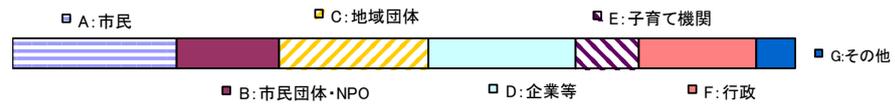
【成果指標】

①商店街各店舗を訪れる割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①67.5%

【役割の担い手】 ①A:21% B:13% C:19% D:19% E:8% F:15% G:5%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 出かけたくなるワクワク地域

<成果の視点> まちの玄関口である商店街が元気であること

[主要な指標] 商店街でのイベント数

○実施事業 たのしい商店街事業

| | | | | | | |
|------------|---|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | 「ぜんぎょう」を知ろう事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-1-1-01-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>善行に関する様々な情報を提供することで、地区住民の日常生活の利便性を向上するとともに、わがまち「ぜんぎょう」を知ること、郷土愛の醸成を図ります。</p> <p>1 善行地区ポータルサイトの運営 2 善行地区広報の発行 3 善行お役立ちマップ(便利帳)の作成 4 地区内の生涯学習活動等との連携 5 その他、善行に関する情報提供と郷土愛の醸成</p> | | | | | |
| 活動指標 | 善行に関する情報が様々な形で発信されていると感じる人の割合 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 30% | 6年後目標値 | 40% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域経営会議を中心に、地域全体が担い手となります。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | この事業により、「さりげないサポートのまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|------------|---|---------------|--------|------|--------|--------------------|
| 事業名 | 善行市民活動サポートセンター(コンシェルジュ善行)開設・運営事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-1-1-01-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>援助して欲しい、何かボランティアをしたいというような、様々なニーズに応じて、善行地区の地域資源や活動団体、制度などを紹介(仲介)するシステムを開設、運営します。</p> | | | | | |
| 活動指標 | 年間延べ利用者数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0人 | 3年後目標値 | 500人 | 6年後目標値 | 700人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域団体やボランティア、NPOが主体となって推進していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| | 検討 | 検討・実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | この事業により、「さりげないサポートのまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|------------|--|-----------|--------|--------------------|--------|---------|
| 事業名 | 地域活動ネットワーク事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-1-1-01-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 善行地区を中心に活動している様々な団体やボランティアをネットワークで結び、相互交流や情報交換、活動に参加しやすい環境づくりが行える仕組みをつくります。このネットワークの活用を推進することで、善行の地域活動をより一層活発にします。 | | | | | |
| 活動指標 | 新たなネットワークが構築され活用されていること | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | なし | 3年後目標値 | 構築されている | 6年後目標値 | 活用されている |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域住民や団体が中心となって展開していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「さりげないサポートのまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | (連絡先) 0466-81-4431 | | |

| | | | | | | |
|------------|--|---------------|--------|--------------------|--------|---------|
| 事業名 | 善行ささえあいマップ作成事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-1-1-01-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 善行地区に住む高齢者の居場所をマップ化し、災害、防犯、行方不明などの緊急事態に備えます。 | | | | | |
| 活動指標 | マップが作成されていること | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | なし | 3年後目標値 | 作成されている | 6年後目標値 | 活用されている |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域団体や住民、NPOが主体となって事業を担い、行政は側面的な支援を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「さりげないサポートのまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | (連絡先) 0466-81-4431 | | |

| | | | | | | |
|------------|---|-----------|--------|------|--------|--------------------|
| 事業名 | 高齢者ミニデイサロン事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-1-1-01-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 地区内の公共施設等を活用し、高齢者がつどい、交流し、元気になれる温かい居場所を提供します。 | | | | | |
| 活動指標 | 年間延べ利用者数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0人 | 3年後目標値 | 600人 | 6年後目標値 | 800人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | NPOや市民団体、市民ボランティアが中心となって推進します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 検討・実施 | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「さりげないサポートのまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|-------------|--|---------------|--------|------|--------|--------------------|
| 事業名 | コミュニティひろば事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-13-02-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが利用でき、ふれあいや体験、相談ができる多世代交流型の子育て広場や身近な公共施設等を利用した巡回型広場を開設し、地域で子育てを応援します。 | | | | | |
| 活動指標 | 年間延べ利用者数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0人 | 3年後目標値 | 600人 | 6年後目標値 | 800人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | NPOや市民団体、市民ボランティアが中心となって推進していきます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「子どもを守り育むまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

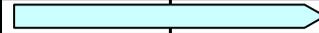
| | | | | | | |
|-------------|--|-----------|--------|------|--------|--------------------|
| 事業名 | 善行ファミリーサポート事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-2-13-02-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 安心して子育てができるように、地域内に、子育て中の親子への支援、相談、情報提供を行う仕組みをつくります。 | | | | | |
| 活動指標 | 年間延べ利用者数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0人 | 3年後目標値 | 300人 | 6年後目標値 | 500人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域内の団体や教育機関、ボランティアなどが連携して取り組む地域主体の事業です。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 検討・実施 | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「子どもを守り育むまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|-------------|---|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | はばたけ！ぜんぎょうの子どもたち事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-13-02-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 子どもたちが協力し、みんなで企画運営する事業を、地域や大人たちが応援します。また、学校施設や教員、民間企業と協力し、子どもたちの学習をサポートする場を提供します。 | | | | | |
| 活動指標 | 善行が楽しいと感じる子どもたちの割合 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 24% | 3年後目標値 | 30% | 6年後目標値 | 50% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域内の団体や企業、教育機関、ボランティアなどが連携して取り組む地域主体の事業です。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「子どもを守り育むまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|-------------|---|---------------|--------|------|--------|--------------------|
| 事業名 | みんなで取り組む防災事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-3-19-03-3 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 地域の防災意識を高めるとともに、いざというときに備えた支援体制や情報伝達システムの確立を図ります。 1 災害時通信システムの検討 2 小規模(自治会単位)防災訓練の実施方法検討 3 防災資機材充実のための援助 4 その他防災意識の啓発事業 | | | | | |
| 活動指標 | 小規模防災訓練の実施回数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回/年 | 3年後目標値 | 0回/年 | 6年後目標値 | 5回/年 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | | | | | | |
| 役割期待 | 事業やシステムの検討は地域団体や住民が担い、行政は財政面での支援を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| | H23 | H24 | H25 | | | |
| | (地域) | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 検討・実施 | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「みんなでつくる安全安心なまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|-------------|---|---------------|--------|------|--------|--------------------|
| 事業名 | 防犯パトロール強化事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-3-19-03-3 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 安全安心のまちづくりを目指し、善行地区専用のパトロールカー(動く安全安心ステーション)を配置し、パトロール事業の充実強化を図るとともに地区内自主パトロール隊への貸出を行います。また、自治会単位での自主パトロール隊の編成を推進するとともに、実践活動への補助を行います。 | | | | | |
| 活動指標 | 自主パトロール隊編成数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0団体 | 3年後目標値 | 20団体 | 6年後目標値 | 20団体 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | | | | | | |
| 役割期待 | 地域団体及び自治会・町内会が主体となる事業です。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| | H23 | H24 | H25 | | | |
| | (地域) | | | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「みんなでつくる安全安心なまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|-------------|--|---------------|--------|--------------------|--------|-----|
| 事業名 | あいさつ運動推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-24-04-4 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | くらしまちづくり会議の取り組みで蓄積されたノウハウを活用して、善行地区の諸団体や施設、学校などが自主的にあいさつ運動に取り組めるよう、また各グループが連携してこの運動を展開していくことができるように支援と実践活動を行います。 | | | | | |
| 活動指標 | まちのあちこちで挨拶や会釈を交わす人が増えたと実感する割合 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 41% | 3年後目標値 | 55% | 6年後目標値 | 70% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域内の住民や企業、団体などが連携して取り組む地域主体の事業です。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) |  | | | | | |
| 事業の成果 | この事業により、「笑顔でふれあうまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | (連絡先) 0466-81-4431 | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|---------------|--------|--------------------|--------|-------|
| 事業名 | 善行の坂道対策事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-5-37-05-5 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 坂のまち「善行」で、少しでも快適に坂道とつきあうためのバリアフリー事業として、手すりの設置や休憩所の整備、滑りやすいレンガ舗装への対策などを施します。 | | | | | |
| 活動指標 | 坂道に対する対策の考案と実施 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 3案の実施 | 6年後目標値 | 3案の実施 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域の視点で地域の人々が対策を考えることにより、行政が対応していく事業です。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) |  | | | | | |
| 事業の成果 | この事業により、「坂道とやさしくつきあうまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | (連絡先) 0466-81-4431 | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | 高齢者等移動支援事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-5-37-05-5 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 高齢者等の交通弱者が、坂道を意識せず、地区内を快適に移動できるよう、移動手段や手法など、移動支援の実施に向けた検討と調整を行います。 | | | | | |
| 活動指標 | 高齢者等、交通弱者への移動支援手段が確立されていること | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 1路線 | 6年後目標値 | 1路線 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民参加による検討を進め、交通事業者若しくは市民ボランティアの協力により推進します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | → | | → | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「坂道とやさしくつきあうまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|-------------|--|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | 「ぜんぎょう」を知ろう事業(再掲) | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-5-43-06-6 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 善行に関する様々な情報を提供することで、地区住民の日常生活の利便性を向上するとともに、わがまち「ぜんぎょう」を知ること、郷土愛の醸成を図ります。 1 善行地区ポータルサイトの運営 2 善行地区広報の発行 3 善行お役立ちマップ(便利帳)の作成 4 地区内の生涯学習活動等との連携 5 その他、善行に関する情報提供と郷土愛の醸成 | | | | | |
| 活動指標 | 善行に関する情報が様々な形で発信されていると感じる人の割合 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 30% | 6年後目標値 | 40% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域経営会議を中心に、地域全体が担い手となります。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | → | | | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「郷土や自然を愛するまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|-------------|---|---------------|--------|------|--------|--------------------|
| 事業名 | 「ぜんぎょうの坂に愛称を！」事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-5-43-06-6 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 日常生活や自然環境への愛着を持ち、郷土愛を深めるため、地区内にある主要な坂道への愛称付けを実施します。 | | | | | |
| 活動指標 | 地区内の主要な坂道に愛称がついていること | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | 100% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域経営会議を中心に、市民参加により推進していく事業です。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | → | 実施 | | | |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | この事業により、「郷土や自然を愛するまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|-------------|---|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | 「きれいなまち、みんなで作る善行」クリーン推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-6-49-07-7 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | きれいなまちの実現と住民のマナーアップを目指し、現在各団体や有志で行っている清掃活動と連携して、地区全体を巻き込んだクリーン推進啓発事業を展開します。 | | | | | |
| 活動指標 | キャンペーン実施回数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 年2回 | 3年後目標値 | 年4回 | 6年後目標値 | 年4回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 関係地域団体と連携しての事業となるため、担い手は地域中心となります。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | この事業により、「善い行いがあふれるまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

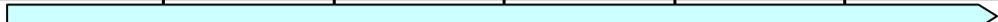
| | | | | | | |
|--------------|--|-----------------------|--------|--------------------|--------|-----|
| 事業名 | 善行市民センター建て替え事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 3-7-587-08-8 | 地域分権区分 | 地域で考え全市で実施する事業(地域→全市) | | | | |
| 事業内容 | 地域の拠点施設としての市民センターのあり方を調査研究し、市に対して、市民センター建て替えに向けた提言を行います。 | | | | | |
| 活動指標 | 提案書の策定 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 提案書の策定 | 6年後目標値 | — |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | | | | | | |
| 役割期待 | 提案書策定に関する方向性やあるべき市民センター像の検討などは、担い手が地域中心となります。整備関連については行政が適切な進捗管理及び予算管理、必要な交渉・調整等を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 提案 | | | | |
| (市域全体) | | 計画 | 実施 | → | | |
| 事業の成果 | この事業により、「みんながっつう楽しいまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | (連絡先) 0466-81-4431 | | |

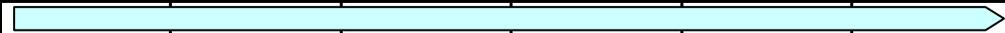
| | | | | | | |
|-------------|---|-----------|--------|--------------------|--------|--------------|
| 事業名 | 市民の家有効活用検討事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 3-7-57-08-8 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 住民が自由に集い、語り、学ぶなど、地域活動や親睦の場としての活用を進めるため、市民の家の現状の課題や今後のあり方などの調査研究を行います。 | | | | | |
| 活動指標 | 更なる活用に向けた調査・研究報告作成 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 報告書完成 | 6年後目標値 | 報告書完成 50% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | | | | | | |
| 役割期待 | 現在は地域市民の家運営委員会連絡協議会が指定管理を受けているが、担い手が地域住民中心となって事業を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 提案 | 実施 | | | |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | この事業により、「みんながっつう楽しいまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | (連絡先) 0466-81-4431 | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | 「農業を元気に！」事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 3-7-62-09-9 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 農家の活力を高め、地域住民が参加するなどにより、共生協力による農の元気を生み出すとともに、生産者にはやりがいと、消費者には安心を与えられるよう、定期市の開催や善行名物の創造、休耕地の活用策などについて検討します。 | | | | | |
| 活動指標 | 実施に向けた環境づくり(実施案づくり) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 1案 | 6年後目標値 | 2案 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 行政は関係法令、規制等に関する側面的な支援を行います。調査・研究、企画・立案の担い手は地域が中心となります。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | | 実施 | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「大地のめぐみを育てるまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|--------------|--|---------------|--------|-----|--------|--------------------|
| 事業名 | (仮称)「元気集団・ぜんぎょう」事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 3-7-63-10-10 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | リタイアした団塊の世代や地域デビューを希望する元気な高齢者などが活動できる場として、有償ボランティア団体を立ち上げ、支援の必要な高齢者などをサポートします。 | | | | | |
| 活動指標 | 実施団体の設立 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0 | 3年後目標値 | 1団体 | 6年後目標値 | — |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | NPOや市民ボランティアが中心となって推進していく事業です。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | | 検討 | 検討・実施 | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「いきがい、やりがい、ささえあいのまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|--------------|--|-----------------------|--------|--|--------|--------------------|
| 事業名 | ぜんぎょう里山づくり事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 3-8-68-11-11 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | |
| 事業内容 | 地区内に残るみどりや土を活用し、癒しの空間を演出するため、ボランティアによる里山づくりを実施するとともに、地域を包む自然や緑豊かな施設を結ぶグリーンネットワークを構築し、自然環境の保全に努めます。 | | | | | |
| 活動指標 | 地区内の自然を楽しむ人の割合 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 41% | 3年後目標値 | 55% | 6年後目標値 | 70% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 里山やネットワークづくりは地域経営会議を中心に市民ボランティアが担っていくが、安全対策やアクセス路の整備などは行政が責任を持って実施します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 |  | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「自然とふれあう健康なまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|--------------|--|---------------|--------|--|--------|--------------------|
| 事業名 | まちに花いっぱい事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 3-8-68-11-11 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 造園農家の協力を得て、ボランティアによって、公園や駅、歩道の花壇や空き地に花や植物を植え、花いっぱいの魅力あるまちを実現します。 | | | | | |
| 活動指標 | 活動場所数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 2箇所 | 3年後目標値 | 4箇所 | 6年後目標値 | 4箇所 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域団体や市民ボランティアなどが中心となって事業活動を担い、行政は財政的な支援を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 |  | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 事業の成果 | この事業により、「自然とふれあう健康なまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | | (連絡先) 0466-81-4431 |

| | | | | | | |
|--------------|--|-----------|--------|-----|--------------------|-----|
| 事業名 | たのしい商店街事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 3-9-73-12-12 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 駅前賑わいを取り戻すために、商店街を元気にし、訪れる人が楽しくなるような事業の検討・実施や、空き店舗の有効活用策などを検討します。 | | | | | |
| 活動指標 | 商店街各店舗などを訪れる割合 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 59% | 3年後目標値 | 60% | 6年後目標値 | 68% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | | | | | | |
| 役割期待 | 駅前商店街が中心となる活動事業です。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| | H23 | H24 | H25 | | | |
| |  | | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → |
| (地域) | | | | | | |
| (市域全体) | | | | | | |
| 事業の成果 | この事業により、「活気あふれる元気なまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 実施主体 | 藤沢市市民自治部善行市民センター | | | | (連絡先) 0466-81-4431 | |

